

埼玉県立がんセンターと千葉県がんセンターの交流セミナー  
研究所・医局合同セミナー

## がん登録と社会の関わり ～全がん協生存率公表のことなど～

演 者: 三上春夫 先生 (千葉県がんセンター  
研究局がん予防センター・部長)



日 時: 平成24年11月21日(水) 17:30～18:30

場 所: 埼玉県立がんセンター講堂

### 要旨

全国がん(成人病)センター協議会(以下「全がん協」)は、国立がん研究センターを事務局とし、がん診療の中核的な役割を担う全国31のがん専門診療施設が加盟する協議会です(<http://www.zengankyo.ncc.go.jp/>)。1973年(昭和48年)に発足した全がん協は、院内がん登録の推進とがん治療成績の向上を明らかにするための研究班を組織し、早くから治療成績の集計を行ってきました。がん診療が高度化する一方、インターネットの普及を背景に、精度や患者背景の明示されない生存率データが散見されるようになり、医療の現場に混乱をもたらすことが危惧されました。このため、全がん協は、2004年に施設別生存率公表のための精度基準を作成、2007年には精度基準を達成した施設の病期別施設別生存率を公開しました。施設別生存率では集計に用いることのできる症例数に限りがあるため、集計部位が5部位程度に限定されます。このたび研究班では1997年診断以降2004年診断までの全がん協施設24万症例をデータベース化し、インターネットを通じて生存率を公開するシステムKapWeb(カップウェブ)の公開と、併せて施設別生存率データの更新を実施しました(上記全がん協HPよりリンク)。研究的公開ではありますが、全国の基幹的がん専門診療施設の診療成績が一括で公表されるのは国内初の試みです。がん研究が社会とどのように関わり、成果を公表していくのか、その意義と今後の課題についてお話しいたします。

連絡先: がんセンター臨床腫瘍研究所  
TEL: 048-722-1111 FAX: 048-722-1739